

生圏システム学専攻
修士課程（一般選抜、社会人特別選抜） 入試案内

この入試案内は、令和 8 (2026) 年度東京大学大学院農学生命科学研究科修士課程学生募集要項を補足するものである。

<A日程>

1. 出願期間

令和7(2025)年 6 月18日（水）10時から 6 月24日（火）17時

出願にあたっては、募集要項を熟読すること。

2. 筆記試験

(1) 外国語（英語）

TOEFL-iBT または TOEFL-iBT Home Edition の公式スコアを提出すること。

提出方法は、募集要項「7. 外国語（英語）試験について」を参照のこと。

(2) 専攻共通科目

生態学、進化学、統計学の基礎と応用に関する 3 題のうち 2 題を選択して解答すること。日英併記で出題するので英語ないし日本語で解答すること。

(3) 生圏システム学

生圏システム学に関する 5 題のうち 1 題を選択して解答すること。日英併記で出題するので英語ないし日本語で解答すること。

3. 口述試験

対面で行う口述試験により、志望動機、本専攻での修学に必要な基礎的学力と適性、希望する研究分野に関する基礎的な能力と資質について質問し、研究遂行能力について総合的に評価する。

4. 試験期日

試験科目		日 時	試験会場
筆記試験	専門科目	令和7(2025)年8月7日(木) 13:30～16:30	受験者心得で通知する。
口述試験		令和7(2025)年8月8日(金) ～8月18日(月)の指定する1日 ※詳細は受験者心得で通知する。	

(注) 試験時間は変更される可能性がある。

5. 提出書類

提出書類は、募集要項「10. 提出書類」に従い、ア～ク及びコを提出すること。

6. 10月入学

募集要項に定める出願資格を満たす者は令和7(2025)年10月入学を希望できる。希望者は、募集要項「10. 提出書類」の「コ 10月入学希望申請書」を出願期間中にWeb出願システムにアップロードすること。

7. その他

(1) Web出願システム入力の際の注意事項

①指定された欄をすべて入力すること。未入力の欄がある場合は、出願書類不備として取り扱う。

②志望専門分野及び志望指導教員名は、募集要項「教員並びに専門分野一覧」を参照のうえ第3志望まで、専門分野と教員名を入力すること。同じ専門分野の別の教員を第2、第3志望として入力してもよい。どうしても第2、第3志望がない場合は、入力しなくてよい。

なお、異動等に伴い教員名等の記載事項に変更が生じた場合は、募集要項「教員並びに専門分野一覧」を更新するので、出願前に最新版を確認すること。

③履歴事項は大学卒業（見込み）までを入力すること。また、社会人特別選抜出願者は職歴を入力すること。

④学歴について、飛び級等の学歴がある場合または日本以外の国での教育歴がある場合は出願前に入力方法を農学生命科学研究科教務課学生支援チーム大学院学生担当（募集要項「14. 問合せ・連絡先」参照）へ問い合わせること。

(2) 過去問題の入手先は、研究科ホームページまたは募集要項内の案内を参照すること。

(3) 本専攻の入学試験に関する不明な点は、生圏システム学専攻（募集要項「各専攻のお問い合わせ先」参照）に問い合わせること。

(4) 本研究科入学試験については、募集要項及び本入試案内を熟読すること。出願にあたり不明な点は、予め農学生命科学研究科教務課学生支援チーム大学院学生担当（募集要項「14. 問合せ・連絡先」参照）まで、余裕を持って問い合わせること。

<B日程>

1. 出願期間

令和7(2025)年11月20日（木）10時から11月26日（水）17時まで

出願にあたっては、募集要項を熟読すること。

2. 書類専攻

外国語（英語）

TOEFL-iBTまたはTOEFL-iBT Home Editionの公式スコアを提出すること。

提出方法は募集要項「7. 外国語（英語）試験について」を参照のこと。

3. 口述試験

口述試験受験の可否は、外国語（英語）および提出書類に基づく書類選考により決める。口述試験受験者は事前に準備した発表資料に基づき志望動機、卒業論文で行った研究、および大学院で行いたい研究について15分間のプレゼンテーションを行い、専門分野に関連する内容も含んだ質疑応答を行う。口述試験では、専門領域に関わる俯瞰的な視野と関連知識の量、論理的思考力、研究に対する意欲と計画性などを総合的に評価する。出身大学等のカリキュラムの都合により卒業論文を行っていない場合には、大学時代に学んだ内容について発表を行う。口述試験は、英語ないし日本語で受験することができる。

書類選考で不合格となった場合も、検定料は返金しない。

4. 試験期日

令和8(2026)年1月30日（金）～2月6日（金）に実施する。

（注意事項）

- ・書類選考を通過した者には令和7(2025)年12月18日（木）にメールで連絡する。
- ・口述試験の時間については、令和8(2026)年1月上旬にメールで送付する「受験者心得」を参照のこと。

5. 提出書類

出願者は、募集要項「10. 提出書類」に従い、ア～サを提出すること。「サ 専攻が提出を求める書類」は以下の表の書類を提出すること。

志望理由書	・志望動機および大学院で行いたい研究について、A4用紙に英語1500-2000 words程度、ないし日本語で3000-4000字程度にまとめること。複数枚の場合はページ番号を付すこと。 ・「8. 問い合わせ・連絡先」にある<u>emailアドレスに電子メールで提出すること。この時件名は、「B日程出願：名前」とすること。</u>
-------	---

（注意事項）

- ・社会人特別選抜の出願者は、募集要項「10. 提出書類」における「カ 入学後の研究計画書」の提出は不要とする。

6. 10月入学

募集要項に定める出願資格を満たす者は令和8(2026)年10月入学を希望できる。希望者は、募集要項「10. 提出書類」の「コ 10月入学希望申請書」を出願期間中にWeb出願システムにアップロードすること。

7. その他

(1) Web出願システム入力の際の注意事項

①指定された欄をすべて入力すること。未入力の欄がある場合は、出願書類不備として取り扱う。

②志望専門分野及び志望指導教員名は、募集要項「教員並びに専門分野一覧」を参照のうえ第3志望まで、専門分野と教員名を入力すること。同じ専門分野の別の教員を第2、第3志望として入力してもよい。どうしても第2、第3志望がない場合は、入力しなくてよい。

なお、異動等に伴い教員名等の記載事項に変更が生じた場合は、募集要項「教員並びに専門分野一覧」を更新するので、出願前に最新版を確認すること。

③履歴事項は大学卒業（見込み）までを入力すること。また、社会人特別選拔出願者は職歴を入力すること。

④学歴について、飛び級等の学歴がある場合または日本以外の国での教育歴がある場合は出願前に入力方法を農学生命科学研究科教務課学生支援チーム大学院学生担当（募集要項「14. 問合せ・連絡先」参照）へ問い合わせること。

(2) 過去問題の入手先は、研究科ホームページまたは募集要項内の案内を参照すること。

(3) 本専攻の入学試験に関する不明な点は、生圏システム学専攻（募集要項「各専攻のお問い合わせ先」参照）に問い合わせること。

(4) 本研究科入学試験については、募集要項及び本入試案内を熟読すること。出願にあたり不明な点は、予め農学生命科学研究科教務課学生支援チーム大学院学生担当（募集要項「14. 問合せ・連絡先」参照）まで、余裕を持って問い合わせること。

8. 問い合わせ・連絡先

〒113-8657 東京都文京区弥生 1-1-1

東京大学大学院農学生命科学研究科生圏システム学専攻

橋本 禪

電話番号：（日本国内から）03-5841-5049／（日本国外から）+81-3-5841-5049

Email：ahash@g.ecc.u-tokyo.ac.jp

ウェブサイト：<http://www.es.a.u-tokyo.ac.jp/>